

年表：農村図書館の浪江虔(なみえ・けん)と「京浜労働者グループ」の抵抗

(表右中ゴシック文字は全国的事件等)

2021.8.28

	浪江(旧姓板谷)虔、八重子		「京浜労働者グループ」と山代(旧姓徳毛)巴
1910	虔・札幌生(父帝国製麻)、八重子・群馬桐生生(織機製造)	1912	山代(旧姓徳毛)巴・広島生
1924.2	虔(14歳)、受洗(東京日本基督教角管教会)	1925	治安維持法成立
1926	虔(15歳)、角管教会笹塚分教会日曜学校先生	1927.1	山代吉宗(26歳)、労農党磐城支部長・磐城炭鉱解雇・大争議、入党
1926秋	虔(16歳)、角管教会笹塚分教会日曜学校に図書館創設	1927.5	第一次山東出兵
		1928.3.15	3.15事件
		1929.4.16	4.16事件 、吉宗検挙・懲役6年@秋田刑務所、李雲洙(リウンス30歳)と出会い「闘争総括」。山代(旧姓徳毛)巴、上京・女子美術学校入学
1930.春	虔(20歳)、東京帝国大学文学部美学科入学(音楽研究) 八重子、東京女子大高等学部卒業	1929.9.4	反帝学生同盟銀座デモ計画で100人逮捕。加藤四海商科大学退学
1930.6.15	虔、兄敬(22歳)、プロレタリア音楽家同盟(PM)音楽会 虔、PM入会	1930?	虔実兄：板谷敬(1908生)、東大中退・産業労働調査所入所 宮崎(安東)哲子@東京女子大生、古在由重を社会主義運動へ勧誘
1930.7	青砥村(現葛飾区青戸)全農組合員追悼会 ⇒農民運動	1930.5	東亜同文書院学生(中西功ほか)「民主化要求全学スト」@上海
1931.3	虔、全国農民組合(全農)東京府連合会書記、 大小作争議中の鶴川村(現町田市)の担当へ 虔、無届機関誌発行(新聞紙法違反)	1930.12	東亜同文書院学生、海軍若手将校に反戦ビラ配布@上海
1931.12.31	虔、鶴川村追放、鶴川農民組合解散	1931	加藤、共産党入党、再建茨城県共産党委員会責任者
1932.2	総選挙、八重子検束	1931.4	魯迅、日本人向け唯一の講演会@東亜同文書院@上海
1932.3	虔(22歳)共産党入党 東京市委員会西部地区オルグ	1931.9.18	「満州事変」
1932.10	虔、千葉県オルグ	1931	山代巴・プロレタリア美術研究所入所@池袋椎名町 東京北部工場街で女工
		1932.4	山代(徳毛)巴(20歳)共産党入党、芝寛(18歳)東亜同文書院入学
		1932.6	敬(24歳)共産党入党
		1932秋	加藤検挙

1933.4	<p>虔、全農全国会議派本部書記局書記</p> <p>⇒「バリバリの活動家」？</p>	<p>1933.1.12 河上肇検挙</p> <p>1933.2.4 2.4 長野「教員赤化事件」</p> <p>1933.2.20 小林多喜二(29歳)虐殺</p> <p>1933.3 ヒトラー首相就任、日本、国際連盟脱退</p>
1933.9.27	<p>●虔(23歳)、第一回検挙 ←続く弾圧・転向</p>	<p>1933.5 敬、産業労働調査所一斉検挙</p> <p>1933.6.7 共産党最高幹部佐野学転向声明</p> <p>1933.7 末 既決囚党员 33.8%、未決拘留中党员 32.8%転向</p> <p>1933.12 巴、30日間拘留・宮本百合子と同房</p>
1935.1	<p>★虔、「偽装転向」決意「農村に住みつく」</p>	<p>1934.5 李雲洙(リウンス)出所、金天海(キムチョンヘ)と「朝鮮新聞」発行</p> <p>1935.2 吉宗出所⇒京浜労働者へ</p> <p>1935.3 日本共産党中央組織壊滅</p> <p>1935.7 コミンテルン第七回大会「人民戦線戦術」採択</p>
1935.7.19	<p>虔、判決懲役2年執行猶予4年で出所</p>	
1935.8	<p>虔、鶴川村再訪開始 ・・図書館構想(教会日曜学校)</p>	
1936.1	<p>安東哲子(宮崎民蔵娘、東京女子大卒)、浪江八重子を紹介</p>	
1936.2.11	<p>2.5日20時間の「マラソン見合い」</p> <p>・・「草稿」66p</p>	<p>1936.2.26 2.26 事件</p>
1936.10	<p>八重子、阿佐ヶ谷水原産婆学校</p>	
1937 春	<p>虔、東京府立園芸学校二部入学</p>	<p>1937.3.21 吉宗(36歳)・巴(25歳)結婚(1940.1.20婚姻届け)</p> <p>1937 春 加藤函館刑務所出所(非転向)</p> <p>1937.5 芝寛、企画庁(10月企画院)判任官</p> <p>1937.7.7 盧溝橋事件、日中戦争開始</p>
1937 夏	<p>八重子、産婆試験合格</p>	<p>1937.9 芝、中西篤・中西三洋等有力軍需産業労働者の「研究会」参加</p> <p>1937.11 京都人民戦線「世界文化」中井正一検挙</p>

1938 春	虔、東京府立園芸学校二部卒業、同校有給助手採用	1937.12.15	第一次人民戦線事件、全農解散、全評・日本無産党結社禁止
1938.6	八重子、日赤産院見学生終了	1938.4.1	国家総動員法
1938.7.9	虔(28歳)、八重子(28歳)結婚	1938.5	巴、旭硝子鶴見工場
1938.8	鶴川村(産婆1軒のみ)住居確保	1938.6	古在由重「研究会」講師(昭和研究会尾崎秀美が紹介した松本が紹介)
		1938.9~11	●「第一期京浜労働者グループ事件：東亜同文書院一派」芝寛(24歳)・中西篤・三洋・大窪満・古在由重・戸坂潤等数十人検挙 ・・「草稿」68~71p
1939.1	鶴川村村民	1939.1	吉宗富士電機川崎工場 「星の世界」「人間の歴史」
		1939.4	敬、小菅刑務所出所(非転向)、加藤四海(1910生)函館刑務所出所
		1939.6	吉宗・巴に敬・加藤が加わり労働者教育運動、敬「弟との対話」
		1939.8.23	独ソ不可侵条約
1939.9.21	南多摩農村図書館仮オープン(11坪・三畳間・1900冊)	1939.9.1	ドイツ、ポーランド侵攻：第二次世界大戦開始
1940.1.24	●南多摩農村図書館正式開館(2590冊・月5銭・72人・貸出) ・・新聞「赤の闘士苦心三年」(「転向」者の美談) ・・手嶋評価「全国唯一の国策思想善導ではない図書館」	1939.12	旭硝子鶴見工場「ストーブ要求」行動
1940.5.13	●虔(30歳)第二回検挙 ⇔「京浜労働者グループ」連座	1940.3	東京市従業員組合解散
		1940.5.9	徳毛宣策(山代巴弟)検挙
		1940.5.11	●「第二期京浜労働者グループ事件：吉宗一派」：50人以上検挙 山代吉宗(39歳)・山代巴(28歳)、加藤四海(30歳)・板谷敬(32歳)検挙、検挙直後、加藤「転落死」@碑文谷警察署、特高「高い評価」
1941.1	南多摩農村図書館閉館	1940.7	東京交通労組〔東交〕・労働総同盟・社会大衆党解散
		1941.1	企画院事件(高等官グループ検挙)
		1941.3	治安維持法・予防拘禁制度(豊多摩刑務所内東京予防拘禁所。非転向者・準転向者収容、期限なし)
1941.12.24	予審終結決定「治安維持法違反」	1941.12.8	アジア戦争太平洋戦争開戦
1942.5.26	東京地裁判決、虔懲役2.5年、控訴せず豊多摩刑務所	1942.5.26	東京地裁判決、敬懲役6年
		1942.8.6	東京地裁判決、巴懲役4年、広島三次刑務所

1942.12.17	★虔、「転向思潮」のピーク・・・「草稿」85～88 p		
1943.7	八重子、産婆開業	1943.8	★巴「偽装転向上申書」(看守が筆写保存、1987年公開)
1944.2.1	虔、豊多摩刑務所出所		
1944.3.1	虔、産業図書株式会社・農業図書編集者		
1944.11.23	●南多摩農村図書館再開(6000冊、大人30銭、子供20銭、来館者600人、貸出10000冊)	1945.1	吉宗(44歳)広島刑務所で栄養失調死(非転向)「病名なし」
1945.5	虔、鶴川村役場職員	1945.2.18	敬(37歳)横浜刑務所で衰弱死(非転向)「すし詰め死の一人」
		1945.8.1	巴(33歳)和歌山刑務所病気仮出所、広島へ帰郷し療養
		1945.8.9	戸坂潤(45歳)長野刑務所で疥癬死(非転向)
			・・・「草稿」73～83 p
		1945.8.15	昭和天皇裕仁「玉音放送」(「敗戦」の文言なし)
		1945.9	中西功死刑求刑、中西三洋判決懲役5年@豊多摩刑務所
		1945.10.4	GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)「人権指令」
		1945.10.10	政治犯3000人釈放(徳田球一・金天海等)
1945.10.15	鶴川村上三輪「部落文庫」@内田和男宅	1945.10.14	共産党再建本部呼び出しで巴上京
1945.11	虔、鶴川村役場退職、民主化運動に参加	1945.10.15	治安維持法廃止、金天海他「在日本朝鮮人聯盟」結成
		1946.2	「広島青年文化連盟」発足会、峠三吉、中井正一尾道市立図書館長
		1946.9	巴、日本農民組合(日農)広島県連合会常任書記
1947	虔、日本共産党再入党	1947.2	巴、日農唯一の女性中央委員婦人部長
1947.12	虔、農山漁村文化協会理事	1948.2	中井正一ほか、国立国会図書館開館
1949	手島孝典・生(元町田市立中央図書館長)	1949.6	日本製鋼所広島工場大労働争議
1949.5.13	八重子原稿「否(ナイン、Nein)」	1949.10.2	平和擁護広島大会
1950	虔、鶴川村村会議員選挙、共産党公認で当選	1950.4	巴、虔を訪問、小説「いたどりの茂るまで」執筆@南多摩図書館
1950.9	虔、「誰にもわかる肥料の知識」	1950	丸木位里・俊「原爆の図」巡回展覧会

1952.7	虔、共産党脱党	1950.6	朝鮮戦争開始⇒レッドパージ開始
1953.10	虔、「村の政治」	1951	峠三吉「原爆詩集」
1958	鶴川村、町田市に合併	1951.9	サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約
1959	虔、自治労地方自治研究会(第三回)助言者	1951.10	共産党「新綱領」
1962.3	町田市「あかね台文庫」@長瀬はつえ宅	1952.5	中井正一日本図書館協会理事長死去(52歳)
1962.8	「玉川学園自動センター」	1952.8	「原爆被害者の会」発足
1963.11.30	虔、町田市立読書普及会で「地域文庫」を提案	1952.9	巴編「詩集 原子雲の下より」
1964.1.31	町田市立読書普及会「地域文庫づくり運動」正式決定	1953.3.10	峠三吉死去(36歳)
1965 秋	日野市、移動図書館1台開始	1953.6	巴編「原爆に生きて 原爆被害者の手記」
1966	町田市立図書館、児童書貸出開始	1954.1	自治労(全日本自治団体労働組合)結成
1966.8.30	「地域文庫への図書貸出の大幅増加請願書」	1954.3.1	第五福竜丸被爆@ビキニ環礁
1966.10.20	全国図書館大会	1954.5	全国図書館大会「図書館の自由に関する宣言」
1968	町田市立図書館、一般書貸出開始	1954.8	原水爆禁止署名運動全国協議会結成
	南多摩農村図書館⇒私立鶴川図書館へ改称		

1970	親子読書・地域文庫全国連絡会発足		
1970.3	革新・大下勝正町田市長当選		
1970.6	美濃部革新都政「東京都の公共図書館新興施策」		
1970.8	町田市、専任図書館長就任		
1970.10	町田市、移動図書館開始「そよかぜ1号」		
1984.4	「町田市立図書館をよりよくする会」		
1985	町田市立図書館協議会設置 職員組合		
1987.9.27	私立鶴川図書館閉館		
1993.6	八重子死去(83歳)		
1996	「町田市立図書館をよりよくする会」を「町田の図書館活動をすすめる会」へ改称		
1999.1	虔死去(88歳)		
2015	町田市、図書館8館		
2017.2	町田市5か年計画「図書館の効率的・効果的運営」 町田市教育委員会「生涯学習施設の在り方検討委員会」		
2019.2	教育委員会「町田市立図書館の在り方見直し方針」		
2020.1.14	同「効率的・効果的図書館サービスのアクションプラン」 ⇔「まちだ未来の会」、「鶴川図書館大好き!の会」		